

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「中国人民元ソブリンオープン（元高米ドル安戦略）（愛称 夢元ドル戦略）」は、このたび、第9期の決算を行いました。

当ファンドは、中国人民元ソブリンマザーファンドを通じて、中国本土に流通する中国人民元建ての中国のソブリン債に投資を行うとともに、米ドルから中国人民元に投資を行うのと概ね同様の効果を得るため実質組入外貨建資産（人民元建て資産）額と同程度額の米ドル売り／円買いの為替予約取引を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末(2023年2月10日)

基準価額	9,625円
純資産総額	31百万円
第9期	
騰落率	△ 3.0%
分配金(税引前)合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

中国人民元ソブリンオープン （元高米ドル安戦略） （愛称 夢元ドル戦略）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2022年8月11日～2023年2月10日

交付運用報告書

第9期（決算日 2023年2月10日）

 **岡三アセットマネジメント**
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

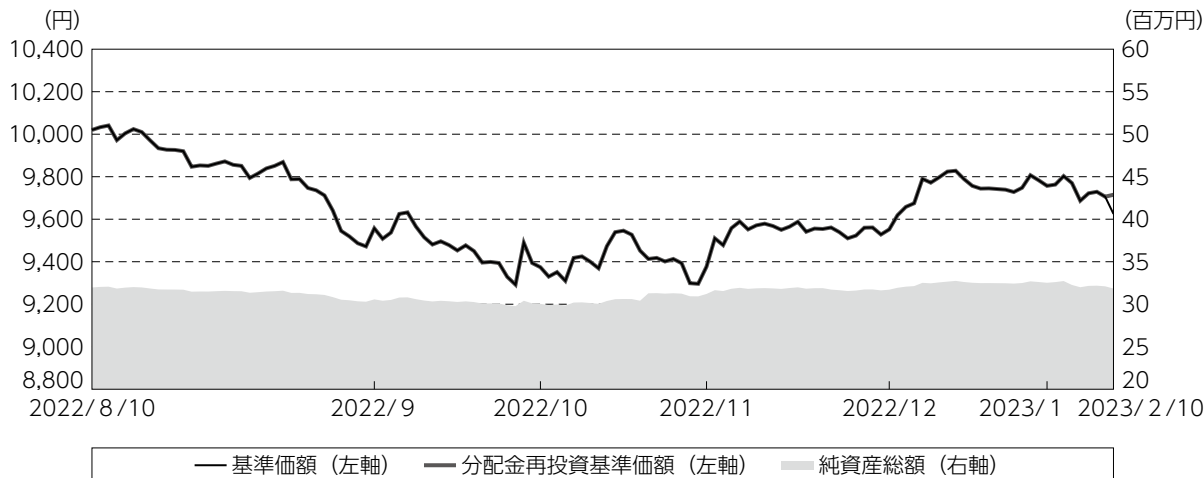
[ホームページ]
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2022年8月11日～2023年2月10日）



期首：10,020円

期末：9,625円（既払分配金（税引前）：90円）

騰落率：△3.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2022年8月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「中国人民元ソブリンマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・保有債券からの利息収入の獲得がプラスとなりました。

（主なマイナス要因）

- ・債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したことがマイナスとなりました。
- ・人民元が対円で下落したことがマイナスとなりました。

※「中国人民元ソブリンオープン（元高米ドル安戦略）（愛称 ^{むげん} 夢元ドル戦略）」では、実質組入外貨建資産額と同額程度の米ドル売り／円買いの為替予約取引を行っています。マザーファンドの影響も含めた当ファンドの為替要因においては、人民元が対米ドルで下落したことがマイナスとなり、全体でもマイナスとなりました。

1 万口当たりの費用明細

（2022年8月11日～2023年2月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 61 (29) (29) (2)	% 0.632 (0.305) (0.305) (0.022)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (1) (1) (0)	0.020 (0.013) (0.006) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	63	0.652	
期中の平均基準価額は、9,578円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

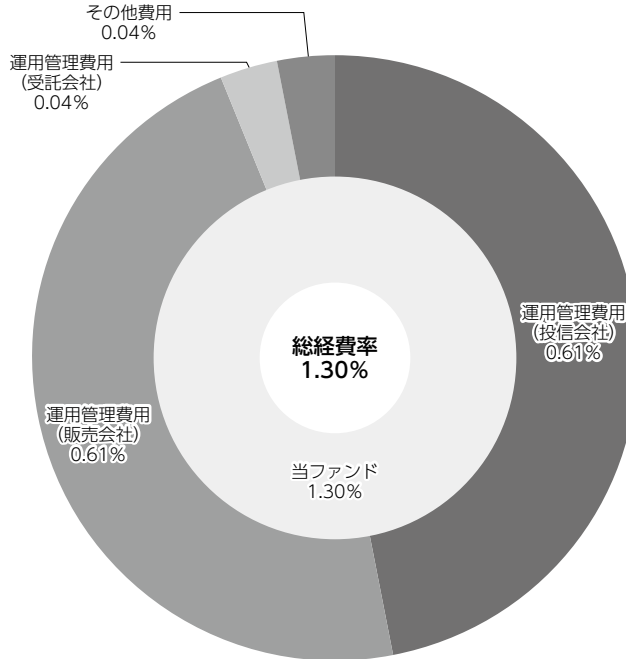
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.30%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

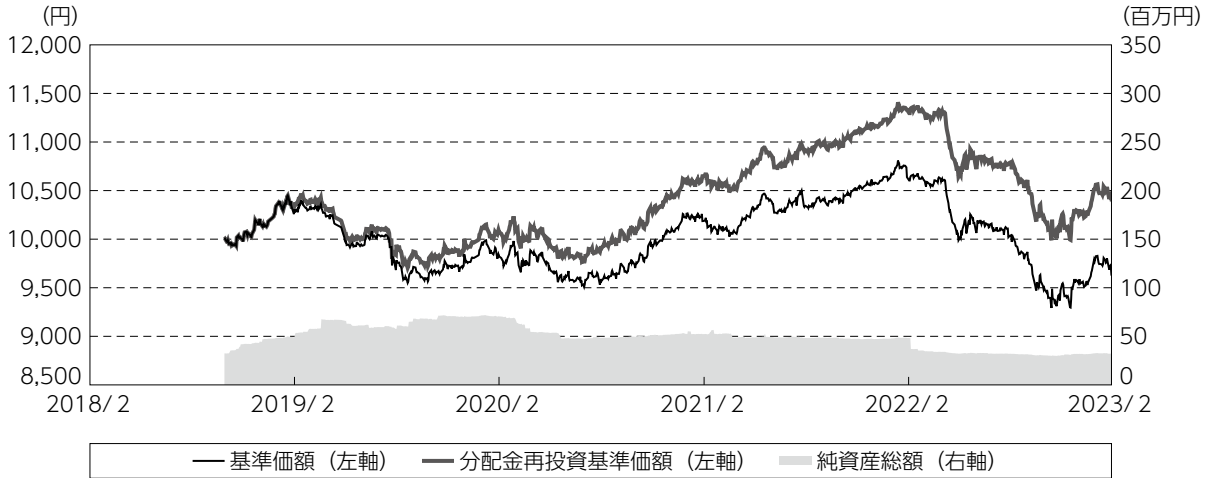
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年2月13日～2023年2月10日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2018年10月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年10月12日 設定日	2019年2月12日 決算日	2020年2月10日 決算日	2021年2月10日 決算日	2022年2月10日 決算日	2023年2月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,258	9,799	10,186	10,638	9,625
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	70	180	190	200	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.3	△ 2.7	6.0	6.4	△ 7.9
参考指数騰落率 (%)	—	4.7	△ 0.9	8.6	7.0	△ 7.0
純資産総額 (百万円)	32	48	70	52	48	31

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年2月12日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged USDから米ドル売り／円買いの為替ヘッジコストを勘案した指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

（2022年8月11日～2023年2月10日）

中国の債券市場では、新規融資などが市場予想を大幅に下回り、不動産市場の低迷の影響が確認される中、中国人民銀行（PBOC：中央銀行）が1年物中期貸出制度（MLF）の金利などを引き下げたことを受け、債券利回りは低下（価格は上昇）する形でのスタートとなりました。その後は、5年に一度の共産党大会を控え、景気対策への期待などが利回り上昇（価格は下落）要因となる一方で、同大会以降に公表された新指導部が、続投となった習近平国家主席と関係の近いメンバーが大半となったことで、ゼロコロナ対策の長期化や、経済を含め統制を強化するとの懸念などが利回り低下要因となり、2022年10月末にかけては一進一退の展開となりました。11月には、感染対策の緩和や不動産市場の下支えなどの政策転換を受け、中国のリオープン（経済再開）期待が高まったことから債券利回りは短期間で急上昇する展開となりました。12月以降は、複数都市での感染拡大や医療ひっ迫への懸念などから債券利回りは低下する局面も見られましたが、防疫措置のさらなる大幅緩和などを受けた景気回復への期待が債券利回りの上昇圧力となり、債券利回りはほもみ合い推移となりました。この結果、当期における10年国債利回りは上昇となりました。

為替市場では、2022年10月末にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長がインフレ抑制に向けた断固たる姿勢を示す中、事前予想を上回る米消費者物価指数（CPI）の結果などを受け、FRBが金融政策の引き締めペースを加速させるとの見方が強まったことに加え、共産党大会以降に公表された新指導部の顔ぶれを受け、厳格な感染対策の長期化や、経済を含め統制を強化するとの懸念が高まったことなどから、人民元は対ドルで下落しました。その後は、感染対策の大幅緩和や不動産市場の下支えなどの政策転換を受け、中国の経済再開期待が高まったことに加え、CPIの鈍化を受けパウエルFRB議長が利上げペースの減速を示唆したことなどから、人民元は対ドルで下落幅を縮小しました。この結果、当期における人民元は対ドルで小幅下落となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年8月11日～2023年2月10日）

<中国人民元ソブリンオープン（元高米ドル安戦略）（愛称 ^{むげん} 夢元ドル戦略）>

「中国人民元ソブリンマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。実質組入外貨建資産額と同額程度の米ドル売り／円買いの為替予約取引を行いました。

○中国人民元ソブリンマザーファンド

（債券組入比率）

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

（債券別投資比率）

債券通（ボンドコネクト）を通じて、人民元建ての国債、国家開発銀行債に投資しました。当期間は国債の比率を6～7割程度、国家開発銀行債の比率を2～3割程度としました。ポートフォリオ内では、長期債の比率を低下させました。

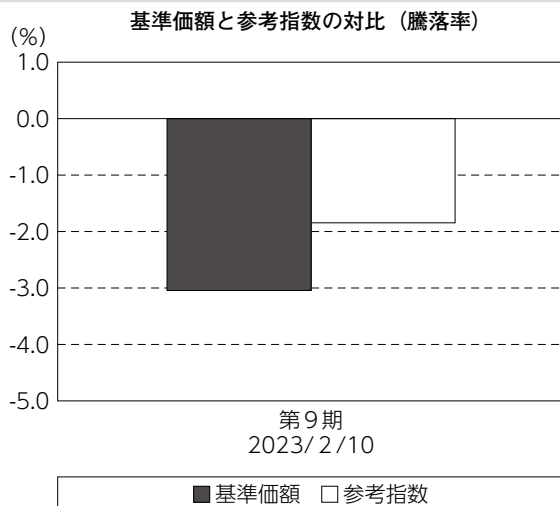
債券通（ボンドコネクト）とは…

中国本土と香港間の債券相互取引制度で2017年7月にスタートしました。海外機関投資家は、香港経由で、中国本土の銀行間債券市場での債券投資が可能となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年8月11日～2023年2月10日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、JPMorgan GBI-EM China Unhedged USDから米ドル売り/円買いの為替ヘッジコストを勘案した指数です。

分配金

（2022年8月11日～2023年2月10日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、ファンドの収益力、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり90円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第9期
	2022年8月11日～ 2023年2月10日
当期分配金	90
(対基準価額比率)	0.926%
当期の収益	80
当期の収益以外	9
翌期繰越分配対象額	765

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

中国の債券市場については、中国当局による政策転換（ゼロコロナ政策の解除、不動産市場の下支えなど）や、財政支出の拡大を含む経済対策への期待は金利上昇要因となる一方で、感染再拡大への懸念や、実体経済の低迷を踏まえた住宅ローン金利の指標となるローンプライムレート（5年）などの引き下げ期待は金利低下要因として想定され、長期債利回りは現状水準を中心としたもみ合いを予想します。

為替市場については、中国当局による政策転換や、財政支出の拡大を含む経済対策への期待などから人民元高圧力がかかりやすい展開が想定されます。ただし、米国ではあと複数回の利上げ継続が見込まれる一方で、中国は景気回復に向けた緩和的な金融政策が維持される公算であり、米中の金融政策の方向性の差異や、中国の輸出鈍化による貿易黒字の縮小傾向などを踏まえれば、ドル安／元高が進行する余地も限定的と考えています。

（運用方針）

<中国人民元ソブリンオープン（元高米ドル安戦略）（愛称 ^{むげん} 夢元ドル戦略）>

主要な投資対象である「中国人民元ソブリンマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持して運用する方針です。

実質組入外貨建資産額と同額程度の米ドル売り／円買いの為替予約取引を行う方針です。

○中国人民元ソブリンマザーファンド

運用につきましては、中国国内の景気動向や物価動向、中央銀行の金融政策スタンス等に加え、国際情勢の動向などの分析を通じ、デュレーションを機動的に調整する方針です。これにより、ポートフォリオの金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。

お知らせ

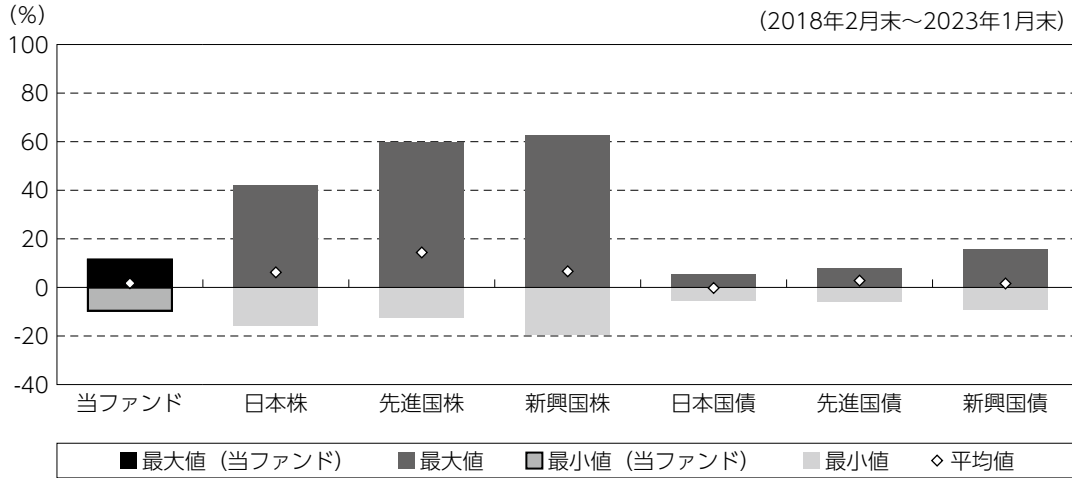
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2018年10月12日から原則として無期限です。	
運用方針	中国人民元ソブリンマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、中国本土に流通する中国人民元建ての中国のソブリン債に投資を行うとともに、米ドルから中国人民元に投資を行うのと概ね同様の効果を得るため実質組入外貨建資産（人民元建て資産）額と同額程度の米ドル売り／円買いの為替予約取引を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	中国人民元ソブリンマザーファンド	中国人民元建ての中国のソブリン債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	中国人民元ソブリンマザーファンド	運用にあたっては、金利予測やイールドカーブ分析を基に、対象銘柄の流動性を勘案して、ポートフォリオの構築および修正を行います。
分配方針	毎年2月10日および8月10日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	11.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 9.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	1.7	6.2	14.4	6.6	△ 0.2	2.8	1.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2019年10月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2023年2月10日現在）

○組入上位ファンド

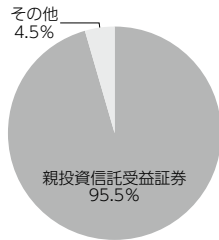
銘柄名	第9期末
	%
中国人民元ソブリンマザーファンド	95.5
組入銘柄数	1銘柄

○外国為替予約取引の状況

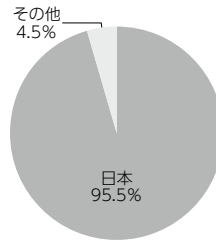
通貨		比率
買い	売り	
日本円	米ドル	86.6%

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する予約外貨評価額の割合です。

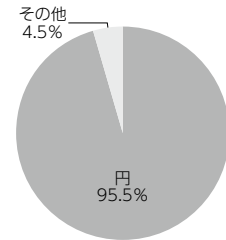
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

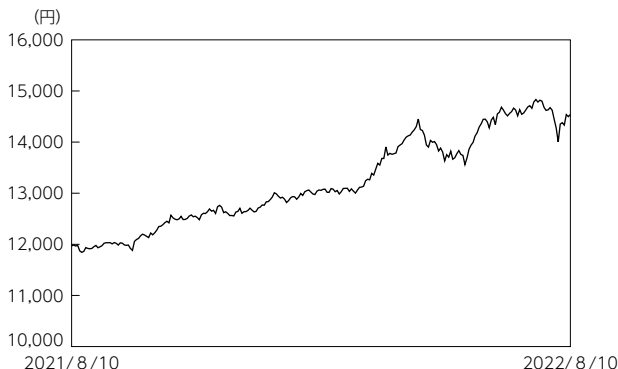
項目	第9期末
	2023年2月10日
純資産総額	31,842,992円
受益権総口数	33,082,521口
1万口当たり基準価額	9,625円

（注）期中における追加設定元本額は1,861,475円、同解約元本額は682,705円です。

組入上位ファンドの概要

中国人民元ソブリンマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年8月11日～2022年8月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	4	0.029
(保 管 費 用)	(4)	(0.027)
((そ の 他 1))	(0)	(0.002)
((そ の 他 2))	(0)	(0.000)
合 計	4	0.029

期中の平均基準価額は、13,259円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

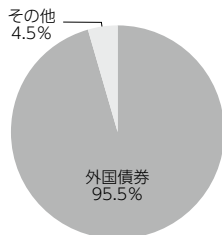
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

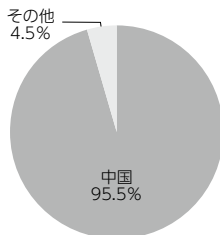
(2022年8月10日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地域)	比 率
1	CHINA GOVT BOND 2.89	国債証券	オフショア元	中国	16.5
2	CHINA DEV BANK 4.04	特殊債券	オフショア元	中国	11.3
3	CHINA GOVT BOND 3.6	国債証券	オフショア元	中国	11.1
4	CHINA GOVT BOND 3.25	国債証券	オフショア元	中国	9.0
5	CHINA GOVT BOND 3.72	国債証券	オフショア元	中国	6.9
6	CHINA GOVT BOND 3.54	国債証券	オフショア元	中国	6.1
7	CHINA GOVT BOND 3.12	国債証券	オフショア元	中国	6.0
8	CHINA DEV BANK 2.73	特殊債券	オフショア元	中国	5.8
9	CHINA GOVT BOND 3.27	国債証券	オフショア元	中国	5.0
10	CHINA DEV BANK 3.48	特殊債券	オフショア元	中国	5.0
	組入銘柄数		17銘柄		

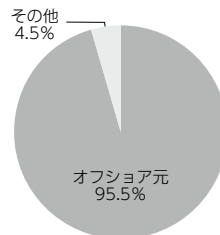
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) ボンドコネクトを通じた中国人民元建てソブリン債への投資に際し、取引通貨はオフショア元の為替レートが適用されます。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。